



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18 年 8 月 16 日

上場会社名 東武鉄道株式会社

(コード番号:9001 東証第 1 部)

(URL <http://www.tobu.co.jp/>)

代 表 者 取締役社長 根津 嘉澄

問合せ先責任者 経理部主計担当課長 杉山 知也

TEL:(03)3621-5145

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規)1社(除外)0社 持分法(新規)0社(除外)0社

新東京タワー(株)を新たに連結の範囲に含めております。
 東武ビル管理(株)は商号を東武ビルマネジメント(株)に変更いたしました。また、東洋浄化産業(株)は商号を(株)TOYOに変更いたしました。

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	160,896	2.6	12,747	△0.3	8,703	△5.1	6,883	16.3
18年3月期第1四半期	156,812	△4.5	12,787	12.1	9,171	48.5	5,918	116.8
(参考)18年3月期	646,361	1.4	47,707	17.1	41,294	50.0	26,873	117.9

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	8.03	8.03
18年3月期第1四半期	6.90	6.90
(参考)18年3月期	31.33	31.33

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

(運輸事業)

鉄道業では、設備・施設面において、伊勢崎線太田駅付近高架化工事や、全線にわたる踏切支障報知装置の設置を引き続き進めたほか、信号保安設備・変電所機器の更新改良工事や、弾性ポイント化およびロングレール化等の騒音軽減・軌道強化、高架橋等の改修・耐震補強工事などの防災対策工事に取り組んでおります。また、駅エレベーター・多機能トイレ等のバリアフリー化工事を計画的に推進しております。

営業面では、本年3月に実施した伊勢崎線・日光線を中心としたダイヤ改正および同時に開始したJR新宿駅～東武日光・鬼怒川温泉駅間での特急列車直通運転において、日光・鬼怒川地区のPR活動を積極的に展開したことにより、特急列車のご利用が好調に推移いたしました。また、館林市の「館林野鳥の森フラワーガーデン」や、足利市の「あしかがフラワーパーク・大藤まつり」などへの快適なアクセスをご提供するための、東京メトロ・東京急行電鉄との共同直通臨時列車「フラワーエクスプレス号」の運転や、日光・鬼怒川温泉方面への外国人旅行者向け割引乗車券の見直し、当社沿線を中心とした各種スタンプラリーなど、様々な営業施策に取り組みました。4月24日からは、お客さまにわかりやすくご案内する窓口として、「東武鉄道お客さまセンター」を開設いたしました。

バス・タクシー業では、東武バスウエスト(株)において、3月31日より今までの東武バス時刻表検索サービスに加え、川越・坂戸地区での携帯電話およびパソコンからバス現在位置を確認できるサービスを導入いたしました。また、東北急行バス(株)において4月21日より東京～新庄線の夜行高速バス「TOKYOサンライズ号」の山形新幹線「さくらんぼ東根駅」前への乗り入れを開始するなど、お客様の利便性向上に努めました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は54,200百万円、営業利益は9,049百万円となりました。

(レジャー事業)

スポーツ業では、(株)東武スポーツが5月1日に、せんげん台駅西口に地域最大級となるスポーツクラブ「東武スポーツクラブ プレオンせんげんだい」をオープンいたしました。マシンジムやプール・スパ・エステスタジオ・スチームサウナ・露天ジャグジーなど充実した設備と豊富なプログラムを取り揃えて、お客様からご好評をいただいております。

遊園地・観光業では、東武動物公園が西武園ゆうえんちと提携し、それぞれの年間パス会員を対象に4月1日～6月30日の3ヶ月間、互いに入園を無料とするサービスを実施いたしました。また、動物園・遊園地を探検する「ミッドナイトツアー」を開催するなど入園者の獲得に努めました。東武ワールドスクウェア(株)では、栃木県を代表する食材として日光湯波の人气が根強いことと、ご来園のお客様から湯波料理に対するご要望が大きかったことから園内のレストランを改装し、日光湯波処「平安」として3月18日にリニューアルオープンいたしました。

ホテル業では、銀座東武ホテル、ホリデイ・イン東武成田等の宿泊稼働が好調に推移したほか、東武ホテルレバント東京の婚礼組数の増加等により増収となりました。

以上の結果、レジャー事業の営業収益は21,442百万円、営業損失は58百万円となりました。

(不動産事業)

賃貸業では、当社において、吉川市栄町に所有する土地を活用し、5月26日に地域密着型レストラン「吉川栄町食堂」をオープンいたしました。また、伊勢崎線久喜駅では、新規テナントを6店舗オープンしたほか、東上線川越駅構内では、毎月違うブランドのスイーツを提供する「MONTHLY SELECT」をオープンいたしました。駅スペースの有効活用を図り、お客様に良質なサービスを提供しながら、今後も便利で楽しい「駅ナカ」を創造していきます。また、高架下用地の有効活用の一環として、伊勢崎線太田駅付近の高架下に駐車場を完成させ、地元の病院への賃貸を開始いたしました。

分譲業では、当社において富士見市勝瀬(アイムタワー・イーストコート)、八王子市鹿島(グレイスフォレシア多摩センター)等でマンションを販売いたしました。さらに滑川(フランサ)で建売住宅を販売いたしました。東武不動産(株)では、川口市新井宿で「ヴィスタマークス川口新井宿」等の販売を行っております。また、さいたま市北区で「ヴィスタグレード宮原」の分譲マンションの販売を予定しており、引続き都心近郊の開発による収益向上に努めております。

以上の結果、不動産事業の営業収益は11,191百万円、営業利益は1,350百万円となりました。

(流通事業)

流通事業では、(株)東武百貨店の池袋店において、「初夏の大北海道展」の催事が人気を集め、高額品である宝飾・特選・美術が好調でした。(株)東武宇都宮百貨店においては、お客様に都市型百貨店としてのグレードを感じていただけるような売場を目指して服飾雑貨と食品関連の売場を改装いたしました。さらに、平日の営業時間を延長する等の諸施策を実施し増収に努めました。

以上の結果、流通事業の営業収益は61,972百万円、営業利益は1,397百万円となりました。

(その他事業)

建設業では、東武建設(株)において、宇都宮市内のマンション新築工事、日光市内の温泉ホテルのリニューアル工事が完成したほか、鹿沼市、宇都宮市においても新築工事を受注するなど増収に努めております。

その他業では、東武ビルマネジメント(株)が中央区日本橋の商業ビルの清掃、港区南青山の商業ビルの管理業務を受託して増収に努めました。

以上の結果、その他事業の営業収益は21,479百万円、営業利益は1,026百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	1,544,386	160,772	10.1	181.55
18年3月期第1四半期	1,527,483	113,079	7.4	131.91
(参考)18年3月期	1,556,146	158,199	10.2	184.59

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は1,544,386百万円、負債は1,383,614百万円となり、前連結会計年度と比較してそれぞれ11,760百万円、9,202百万円の減少となりました。また、純資産は四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により160,772百万円となりました。

[参 考]

1. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	314,000	8,000	6,000
通 期	648,000	29,000	39,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 45円49銭

2. 平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	117,000	5,100	4,100
通 期	233,000	17,200	30,800

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 35円93銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、中間期及び通期の業績予想につきましては、連結・個別とも前回発表時(平成18年5月17日)の予想を変更しておりません。

※上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づいて算定しております。従って、業況の変化などにより実際の業績と記載の予想とは異なる場合があります。

○添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表・(要約)四半期連結損益計算書・セグメント情報

(要約)四半期個別貸借対照表・(要約)四半期個別損益計算書・鉄道旅客収入及び旅客人員表

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成18年6月30日現在)	前 四 半 期 (平成17年6月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 増 減
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	202,389	203,689	192,279	10,109
現 金 及 び 預 金	41,222	31,707	28,931	12,290
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	33,379	32,598	34,324	△945
た な 卸 資 産	87,935	94,779	87,408	527
そ の 他	39,852	44,605	41,615	△1,763
固 定 資 産	1,341,995	1,323,791	1,363,865	△21,869
有 形 固 定 資 産	1,127,447	1,149,064	1,136,034	△8,586
無 形 固 定 資 産	9,610	10,041	9,566	43
投 資 そ の 他 の 資 産	204,938	164,685	218,264	△13,326
繰 延 資 産	1	2	1	△0
開 発 費	1	2	1	△0
資 産 合 計	1,544,386	1,527,483	1,556,146	△11,760
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	401,869	405,040	406,131	△4,262
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	35,101	35,357	33,265	1,835
短 期 借 入 金	197,441	180,330	151,053	46,388
一 年 内 償 還 社 債 金	29,550	39,600	39,800	△10,250
前 受	56,904	62,289	54,128	2,776
そ の 他	82,872	87,462	127,884	△45,012
固 定 負 債	944,108	959,747	947,289	△3,180
社 債 金	180,990	145,750	140,950	40,040
長 期 借 入 金	493,811	542,181	532,195	△38,384
鉄 道 ・ 運 輸 機 構 長 期 未 払 金	96,647	104,330	96,647	—
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	53,065	52,884	53,118	△52
そ の 他	119,593	114,600	124,377	△4,783
特 別 法 上 の 準 備 金	37,636	44,673	39,395	△1,759
特 定 都 市 鉄 道 整 備 準 備 金	37,636	44,673	39,395	△1,759
負 債 合 計	1,383,614	1,409,461	1,392,816	△9,202
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	—	4,943	5,130	△5,130
(資 本 の 部)				
資 本 金	—	66,166	66,166	△66,166
資 本 剰 余 金	—	34,389	34,399	△34,399
利 益 剰 余 金	—	△11,153	2,077	△2,077
土 地 再 評 価 差 額 金	—	△32	3,156	△3,156
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—	24,212	53,116	△53,116
自 己 株 式	—	△503	△718	718
資 本 合 計	—	113,079	158,199	△158,199
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	—	1,527,483	1,556,146	△1,556,146
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	106,656	—	—	106,656
資 本 金	66,166	—	—	66,166
資 本 剰 余 金	34,402	—	—	34,402
利 益 剰 余 金	6,823	—	—	6,823
自 己 株 式	△736	—	—	△736
評 価 ・ 換 算 差 額 等	48,915	—	—	48,915
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	45,836	—	—	45,836
土 地 再 評 価 差 額 金	3,078	—	—	3,078
少 数 株 主 持 分	5,200	—	—	5,200
純 資 産 合 計	160,772	—	—	160,772
負 債、純 資 産 合 計	1,544,386	—	—	1,544,386

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期	前 四 半 期	増 減	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
営業収益	160,896	156,812	4,084	646,361
営業費				
運輸業等営業費及び売上原価	114,958	110,637	4,320	464,288
販売費及び一般管理費	33,190	33,386	△195	134,365
営業費合計	148,149	144,024	4,125	598,654
営業利益	12,747	12,787	△40	47,707
営業外収益				
受取利息	39	65	△26	166
受取配当金	418	373	44	6,211
その他	666	1,013	△346	7,094
営業外収益合計	1,124	1,452	△328	13,472
営業外費用				
支払利息	4,819	4,885	△66	19,200
その他	348	183	164	684
営業外費用合計	5,167	5,069	98	19,885
経常利益	8,703	9,171	△467	41,294
特別利益				
固定資産売却益	143	501	△358	17,232
工事負担金等受入額	35	17	18	3,471
貸倒引当金戻入額	34	325	△290	3,511
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,759	1,759	—	7,037
その他	1,280	392	887	4,145
特別利益合計	3,253	2,996	256	35,398
特別損失				
固定資産除却損	530	357	172	2,606
固定資産圧縮損	37	18	18	3,503
減損損失	—	—	—	15,010
その他	543	1,269	△726	7,273
特別損失合計	1,111	1,646	△534	28,393
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,845	10,521	323	48,300
法人税、住民税及び事業税	2,023	6,653	△4,630	23,835
法人税等調整額	1,849	△2,015	3,864	△2,560
計	3,872	4,638	△765	21,274
少数株主利益又は少数株主損失(△)	89	△35	124	152
四半期(当期)純利益	6,883	5,918	964	26,873

3. セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	53,281	20,347	8,249	61,477	17,541	160,896	—	160,896
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	919	1,094	2,942	495	3,938	9,390	(9,390)	—
計	54,200	21,442	11,191	61,972	21,479	170,287	(9,390)	160,896
営業費用	45,151	21,500	9,841	60,575	20,453	157,521	(9,372)	148,149
営業損益	9,049	△58	1,350	1,397	1,026	12,765	(18)	12,747

前第1四半期連結会計期間(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	52,941	20,935	6,850	61,614	14,471	156,812	—	156,812
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	860	904	2,922	644	4,252	9,585	(9,585)	—
計	53,802	21,839	9,772	62,258	18,724	166,398	(9,585)	156,812
営業費用	44,655	21,697	8,328	60,980	17,837	153,500	(9,476)	144,024
営業損益	9,146	142	1,444	1,278	886	12,897	(109)	12,787

前連結会計年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	208,523	84,791	53,958	251,144	47,943	646,361	—	646,361
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,746	3,983	12,006	2,084	28,090	49,912	(49,912)	—
計	212,269	88,775	65,965	253,229	76,033	696,274	(49,912)	646,361
営業費用	183,731	87,453	55,486	247,991	72,527	647,190	(48,536)	598,654
営業損益	28,538	1,322	10,478	5,237	3,506	49,083	(1,375)	47,707

4. (要約)四半期個別貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成18年6月30日現在)	前 四 半 期 (平成17年6月30日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)	前 期 末 増 減
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	108,843	118,999	112,968	△4,124
固 定 資 産	1,245,773	1,228,691	1,264,872	△19,099
資 産 合 計	1,354,616	1,347,691	1,377,840	△23,224
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	301,476	296,264	317,535	△16,059
固 定 負 債	860,665	875,345	861,169	△504
特 別 法 上 の 準 備 金	37,636	44,673	39,395	△1,759
負 債 合 計	1,199,777	1,216,283	1,218,100	△18,323
(資 本 の 部)				
資 本 金	—	66,166	66,166	△66,166
資 本 剰 余 金	—	34,389	34,399	△34,399
利 益 剰 余 金	—	7,672	11,333	△11,333
土 地 再 評 価 差 額 金	—	3,301	4,704	△4,704
その他有価証券評価差額金	—	20,381	43,854	△43,854
自 己 株 式	—	△503	△718	718
資 本 合 計	—	131,407	159,740	△159,740
負 債 及 び 資 本 合 計	—	1,347,691	1,377,840	△1,377,840
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	113,566	—	—	113,566
資 本 金	66,166	—	—	66,166
資 本 剰 余 金	34,402	—	—	34,402
利 益 剰 余 金	13,734	—	—	13,734
自 己 株 式	△736	—	—	△736
評 価 ・ 換 算 差 額 等	41,272	—	—	41,272
その他有価証券評価差額金	36,646	—	—	36,646
土 地 再 評 価 差 額 金	4,626	—	—	4,626
純 資 産 合 計	154,839	—	—	154,839
負 債 、 純 資 産 合 計	1,354,616	—	—	1,354,616

5. (要約)四半期個別損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期	前 四 半 期	増 減	前 期
	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日		自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日
営 業 収 益	54,349	52,891	1,458	233,070
営 業 費	44,891	43,550	1,340	197,195
営 業 利 益	9,458	9,341	117	35,874
営 業 外 収 益	798	912	△113	10,697
営 業 外 費 用	4,851	4,548	303	18,274
経 常 利 益	5,405	5,704	△299	28,297
特 別 利 益	1,904	1,888	15	24,734
特 別 損 失	336	1,101	△765	23,520
税引前四半期(当期)純利益	6,973	6,491	481	29,510
法人税、住民税及び事業税	20	4,659	△4,639	19,097
過 年 度 法 人 税 等	364	—	364	—
法 人 税 等 調 整 額	2,064	△1,126	3,191	△2,146
計	2,448	3,532	△1,083	16,951
四半期(当期)純利益	4,524	2,959	1,565	12,559

6. 鉄道旅客収入及び旅客人員表

		当 四 半 期	前 四 半 期	増減率
		自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日	
旅 客 収 入	定 期 外	19,553 百万円	19,599 百万円	△0.2 %
	定 期	17,042 百万円	17,071 百万円	△0.2 %
	合 計	36,596 百万円	36,670 百万円	△0.2 %
旅 客 人 員	定 期 外	73,428 千人	73,615 千人	△0.3 %
	定 期	148,763 千人	149,538 千人	△0.5 %
	合 計	222,191 千人	223,153 千人	△0.4 %

※ 定期外旅客収入は、急行料金を含んでおります。

※ 旅客人員は単位未満端数四捨五入で表示しております。